

スローテンポ通信

第 3 号

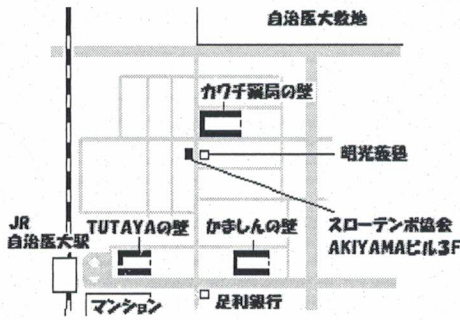
2017年3月31日

発行：一般社団法人スローテンポ協会
〒329-0403 栃木県下野市医大前 3-7-4

☎ 0285-35-2888

Eメール usagimokamemo@gmail.com

スローテンポ協会へのアクセス



JR 自治医大駅東口から自治医大方向に徒歩5分。車でお越しの方は前もってお電話ください。駐車場をご案内します。

原稿募集

ブログ『うさぎもかめも』

<http://usagimokamemo.blog.fc2.com/>には、スローテンポの考え方や主張が掲載されています。

あなたも言いたいことを文章にして訴えてみませんか。添削を中心にブログに掲載できるまでをお手伝いします。ご希望の方は当協会まで電話/メールをください。



☆ 地域活性化懇話会

毎水曜日午後3時～5時、スローテンポ協会事務所で懇話会を開催しています。

4月のテーマは、3月に引き続き『自治医大駅周辺の街づくり』

です。

参加費無料、どなたでも参加できます。発言したい方も、他の人の意見を聞きたい方も歓迎します。

*



人材を募集

スローテンポ協会は誰もが働き、誰もが活躍することをめざしています。

年齢、性別不問。病気や障害を抱える方にも配慮します。当協会はあらゆる差別と偏見を排除します。

本人の能力が活かせるよう、本人に合わせて仕事をつくります。

勤務スタイル、条件は個別に対応します。不安な方は、ボランティア参加も可。

*

なぜ、スローテンポなのか

★スローテンポの反対は、ハイテンポかハイスピード、あるいは単にスピードです。

競争社会では、スピードが要求されます。個人であっても企業であっても、のんびり構えていたのでは、競争に敗れ落ちこぼれてしまいます。

競争社会のキーワードは、効率とスピードであり、この二つの言葉が生活全般を支配します。

企業は労働者に効率とスピードを求めます。時間内に速く効率よく仕事をやってもらおうとします。

働く人間は、速く効率よく仕事をこなすために、まるで、ロボットのように手足を動かさなければなりません。工夫したり、考えたりしてはいけません。

★外科医が手術をするときもスピードが求められます。

しかし治療方針を決めるときは、スピードよりもじっくり検討する方が大切です。

スピードが求められるときもあるけれども、考える方が大切なときもあります。方針が定まらないときは、スピードよりも検討する時間が必要です。

混迷の時代だから、立ち止まって考えることが必要です。スピードを押し付けるのは、考えないようにさせるためです。振り込め詐欺や投資詐欺が相手を急がせるの

催し

☆ スローテンポ画廊

華楽作、シリーズ『花の世界へようこそ』(その一部)。スローテンポ協会事務所にて4月末までです。

☆ スローテンポの会員

スローテンポ協会の事業に賛同していただける方なら、どなたでも会員になれます。スローテンポ通信やイベント、新企画などの案内がいち早く届きます。

会費は年1000円(年度途中の入退会は月当たり100円)。

は、考える隙を与えないためです。期間限定サービスやタイムセールなども、よく考えないで買わせるためのやり方です。

★スローテンポが求められるのは、方針を決めるときだけではありません。

うさぎと亀が一緒に散歩するときは、うさぎは亀に合わせなければなりません。

同じように障がいのある人たちや高齢者と共に暮らすときは、相手に合わせなければなりません。全ての人が安心、安全、満足に暮らす共生社会では、スローテンポでなければならないのです。

★まだまだあります。

散歩するとき、食事を楽しむとき、芸術を鑑賞するとき、恋人とデートをするときはスローテンポがいいに決まっています。楽しい仕事をやるときもゆっくり楽しみながらやるほうがよいのです。

同じ仕事をやるにしても、人によってやり方は異なります。ただ機械的にこなす人もいるし、工夫を凝らしながらする人もいます。

仕事の評価が効率とスピードだけなら、個性や芸術性、創意工夫も新発見も評価できません。

★効率とスピードを求めると、仕事の遅い人を排除したくなります。そこに差別と偏見が生まれます。差別や偏見をなくすための第一歩が、スローテンポです。逆に言えば、スローテンポは多様性を認める共生社会の必須条件です。

N